

環境活動レポート

(期間：第51期 平成22年9月1日～平成23年8月31日)



(グリーンカーテン作り)

平成23年10月30日発行

平成24年 2月24日改訂

 三栄産業株式会社

1 環境方針

三栄産業株式会社は、次の環境方針に基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針 三栄産業株式会社

「三者繁栄」すなわち都市環境の向上に奉仕する当社の総合ビル管理事業を通じて

第一に お客様の繁栄に寄与することを念じ

第二に その結果、当社の経営にも好影響が生まれてくれば

第三に 従業員にも幸せが訪れてくる。

この思いを実現するため、お客様に信頼していただき、継続して仕事をさせていただくことが基本となる。その中で深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇といった人類共通の重要課題にも積極的に対応していきたい。

これらの考えを基に当社の環境方針を次のようにする。

当社の事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るのはもちろんのこと、環境保全につながるサービスや商品の提供にも力を入れ、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

①電気・水道の使用量を削減します。

②ゴミの排出量を削減し、再資源化を促進します。

③ガソリン・軽油の消費量を削減します。

④環境負荷の少ない商品やサービスをお客様に提供します。

⑤地域での環境活動に積極的に参加します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成20年10月20日

改訂日：平成22年 9月30日

代表取締役 **米山 民男**

2 事業の概要

(1) 事業者名および代表者氏名

三栄産業株式会社

代表取締役 米山 民男

(2) 所在地

本社 〒730-0011 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル

西営業所 〒733-0035 広島市西区南観音七丁目6番22号

(3) 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 米山 真和 (常務取締役)

環境事務局担当 : 戸林 英行 (企画開発部課長)

連絡先 : ☎082-232-0533 (<http://www.3ei-kk.com/>)

(4) 主な事業内容

ビルメンテナンス、警備保障、公共施設等の管理運営、建物リフォーム
設備機器メンテナンス

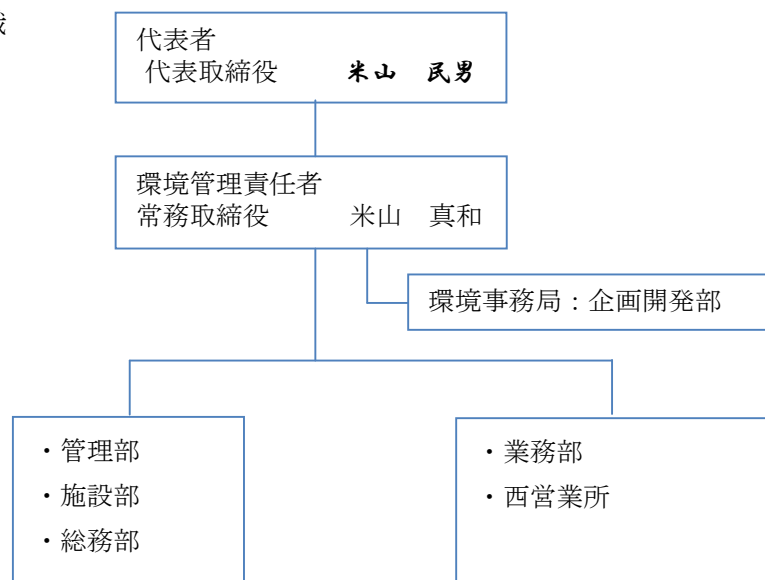
(5) 事業の規模

売上高 1,304百万円 (第51期・平成23年8月)

従業員数 455人 (平成23年・9月)

床面積 411 m² (平成23年・9月)

(6) 対象組織



3 環境目標

項目 【基準】	第51期 (H22.9~H23.8)	第52期 (H23.9~H24.8)	第53期 (H24.9~H25.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 17,476kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233Kwh】	△8% 16,078kg-CO ₂ 42,534Kwh	△9% 15,728kg-CO ₂ 42,072 Kwh	△10% 15,554 kg-CO ₂ 41,610 Kwh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△3% 88,911 kg-CO ₂ 25,675ℓ 11,200ℓ	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ	△6% 86,162 kg-CO ₂ 24,881ℓ 10,853ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+1% 9.97 km/ℓ	+2% 10.07 km/ℓ	+3% 10.17 km/ℓ
一般廃棄物の削減 【第49期 1,533 kg】	△2% 1,502kg	△5% 1,456kg	△6% 1,441kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△25% 203 m ³	△26% 200 m ³	△27% 197 m ³
地域の環境行事への参加 【第48期 参加人数延べ10人】	+400% (延べ40人)	+500% (延べ50人)	+600% (延べ60人)

4 環境目標の実績

第51期の環境目標達成状況【期間：平成22年9月～平成23年8月】

項目	目標値	実績	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	16,078kg-CO ₂ 42,534Kwh	25,530kg-CO ₂ 47,913Kwh	×
ガソリンと軽油使用量の削減	88,911kg-CO ₂ ガソリン25,675ℓ 軽油 11,200ℓ	89,303kg-CO ₂ ガソリン27,961ℓ 軽油 9,326ℓ	×
(参考) CO ₂ 排出量	104,989kg-CO ₂	114,833kg-CO ₂	×
自動車の燃費向上	9.97 km/ℓ	11.22 km/ℓ	○
一般廃棄物の削減	1,502kg	1,404kg	○
水道使用量の削減	203 m ³	173 m ³	○
地域の環境行事への参加	40人	60人	○

電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の排出係数0.491を使用する。

5 環境活動の取り組み内容と結果の評価および次年度への取り組み

取組内容	結果の評価と次年度の取り組み内容
電力の二酸化炭素排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不要照明の消灯 ・ クール・ウォームビズ運動 ・ 外出時のPCの電源OFF ・ 冷房28℃、暖房20℃ 	社員数増による電力使用量の増加を吸収できず目標に未達であった。次年度は目標を下方修正し現在の取り組みをさらに徹底する。
ガソリンと軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用 	車両数の増加を個々の努力では吸収できず目標に未達であった。次年度は目標を下方修正し現在の取り組みをさらに徹底する。
自動車の燃費向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用 	各人のエコドライブに対する認識が深まり、目標を達成できた。次年度も目標を達成できるよう更に現在の取り組みを推進していく。
一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミスコピーの防止 ・ 印刷前確認の励行 ・ 古紙のリサイクル化 	目標は達成できたものの、ゴミの分別については、浸透してきているものの、まだ十分とは言えないので取り組みを徹底する
水道使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水呼びかけ 	節水に関しては、使用者の心がけが一番に重点を置いた節水運動が効果的であった。次年度も運動を継続していく。
地域の環境行事への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 門前清掃の参加 ・ クリーン太田川への参加 ・ 平和公園清掃への参加 ・ ゴミゼロクリーンウォークへの参加 	参加する人がいつも同じで人数が伸びず目標に未達であった。次年度は行事に参加するだけでなく、より主体的に当社から地域に貢献できる環境啓発活動を行う方向にシフトする。

6 代表者による全体の評価と見直し

環境経営システムは概ね有効に機能している。次年度は2009年版のガイドラインに対応するよう環境方針を変更する。また、地域の環境行事への参加は、当社が公共施設の管理を事業として行っている特性を生かし、より主体的に活動すべく当社から地域への環境啓発活動を行う方針へと変更する。

7 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規制は、廃棄物処理法です。環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8 各現場での環境活動

当社では各現場の従業員に一般的な環境に対する自覚を高める教育を定期的を実施し、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を意識したサービスの提供を行うのはもちろんのこと、様々な形で環境啓発や環境負荷の低減につながる活動を行なっています。

例 照明器具のリニューアル工事 (CO₂ 排出量とトータルコストの削減)

施工前

→

施工後



例 ゴミの分別の徹底 (再資源化の促進)

あるビルでは、当社の清掃スタッフがおお客様のご協力のもと一体となって、建物から排出される一般廃棄物の分別と再資源化に取り組みました。

その結果、特に排出される紙ごみを可能な限りリサイクルルートに乗せるようにしたところ、可燃ゴミの大幅な減量化に成功いたしました。



広島市南観音老人福祉センター

例 公共施設でのグリーンカーテン作り (地域住民への環境啓発と環境負荷の低減)

施工前

→

施工後

